

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岩手県 】

1 実践テーマ	【I、IV】
2 実施対象者	釜石市立釜石小学校 全校130人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・2020東京オリンピック・パラリンピックに関心を寄せ、アスリートの話を聞いて自分の目標や障がい者について考える一助にする。 ・自分の目標を持つことの大切さを知り、行動しようとする心情を育てる。
5 取組内容	1 星奈津美さん講演会 北京・ロンドン・リオオリンピック出場の話  

パラリンピックをめざすスイマー親子と

メダルを手に喜ぶ子ども



2 実技指導

講演の終盤に、水泳に役立つストレッチを実技指導



3 オリンピック・パラリンピックの意義について

資料を基に校内放送で、オリンピック・パラリンピックの意義を話し、教室では担任から学級指導を行った。

星奈津美さん クイズ形式でオリンピック・パラリンピックについて学習



6 主な成果

- ・オリンピック・パラリンピックの意義について星奈津美さんから直接話を聞き、2020年東京オリンピック開催に向けて児童の興味・関心が高まった。
- ・けがをしたからあきらめるのではなく、自分の目標を持つ大切さを学んだ。障がい者への見方が変化し、自分も前向きに取り組もうという児童が増えた。
- ・車いす児童の母親も講演に来て、来年3月に行われる選考会に向け励みになった。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	・プールでの実技指導ができなくなったので、講演の中で、水泳に役立つ運動を入れた。その際、一緒に前で実演する児童を選び、親近感を持たせた。 ・講演会終了後に、教室を回り、児童と直接話す機会を持った。 水泳の練習方法について細かなことも詳しく教えていただき、来年の市水泳記録会に向けて励みになった。
8主な課題等	・プールの改修工事が大幅に延期され、水泳の実技指導ができなかった。 ・実際に泳ぎながら指導を受けると、児童の実態が分かり、教えることが具体的にわかるので、来年度できれば実施したい。
9来年度以降の実施予定	・来年できたら、実技を含め指導をお願いしたい。